

がくどうほいく ふなばし

2007年度 第9号 市連協だより 2008年2月21日発行

船橋市学童保育連絡協議会 事務所 船橋市南本町31-5 047-433-9266

<http://homepage2.nifty.com/fghrk/>

父母会はなぜ必要か

船橋市の放課後ルームは原則として公設公営で、父母会のないルームも珍しくありません。でも、父母会活動を経験した方は、その意義や、楽しさを実感されています。あなたのルームに、父母会はありますか？ないならぜひ作りましょう。あるならぜひ参加しましょう。今月はそのような2ヶ所の父母会を支えてこられた保護者の方に体験をつづっていただきました。



もうすぐ1歳の誕生日～習志野台第1・第2放課後ルーム合同父母会のあゆみ

以前、習志野台地域では、父母が協力して学童保育を運営し、父母会活動も活発でしたが、学童保育が公設公営になって自然消滅していました。数年後、バブル崩壊の影響か、企業宿舍の閉鎖などによって生まれた空き地に、マンション、戸建ての建設が進み、放課後ルームの入所待機が発生し始めました。そして、とうとう昨年度末に、習志野台第1放課後ルームで待機が20名を越す非常事態に至りました。フルタイム勤務の家庭での入所待機の発生に多くの不満や不安が湧き上がり、市役所には保護者の抗議もたくさん寄せられました。平成19年度のルーム増設計画の対象になっていることは後から判明したものの、先行き不安な状態に一言物を申したい父母の気持ちを訴えたいという思い、また、**公式に訴え、回答を市から得るためには、再び父母会を作るしかない**と腹を決めたのでした。

そこで、同じ保育園の卒園児クラスのお母さん方に呼びかけたところ、快く役員を引き受けていただいたので、まずは父母会設立準備委員会を作りました。習志野台第1・第2の合同父母会にしたのは、少ない労力(役員)で多くの実りを得、広く共有するためです。本当は、坪井、古和釜、七林、高郷などの北習志野周辺の広域父母会にしたかったのですが、各校の父母会情報が得られなかったので、当面は習志野台第1・第2だけに目標を絞りました。その後、児童ホーム園長に父母会設立を宣言、入所説明会の時に総会の案内をし、先輩父母会を真似て規約類を作成、公民館を借りて設立総会を行い、20数名の出席者全員の賛同を得て、当父母会が誕生したのです。

振り返ってみると、あっという間の1年でした。会員への連絡やニュース配信をメールで行い、8月の習志野台第1放課後ル

ーム・第2放課後ルームの増設に関する要望書を市役所に提出し、夏休み、冬休みには会員を対象にお弁当配達を実施し、といった実績を少しずつ積み上げてきました。そのような中で、会員からの反応も少しずつ返ってくるようになり、夏休みのお弁当配達に関してはかなりの好評をいただきました。少しずつ会員も増え、現在では50名強になっています。年末の要望書提出が突って、習志野台第2放課後ルームの入り口付近に外灯も設置されました。

忙しい保護者のボランティアなので、無理のなくやることを当初から目標としていました。本当に忙しい中、父母会役員を気持ちよく請け負い、いろいろな作業をこなしてくれたスーパー母さん達のおかげで、素晴らしい成果が得られました。なかなか顔を合わせられない父母同士の交流のきっかけ作りができましたし、指導員の先生方とのコミュニケーションがとてもスムーズになりました。お弁当配達の実現は非常に大きい収穫でしたし、子ども達も忙しい親に代わって父母会活動の手伝いをしてくれて、親子の新しいコミュニケーションも生まれました。こうして、役員、会員、指導員の先生方といったみなさんに支えられて、当父母会ももうすぐ1歳の誕生日を迎えられることになったのです。役員同士の団結は感動的で、活動もとても楽しいものでした。また、みんなで子どものために活動しているという充実感も大きく、本当にやって良かったなというのが正直な気持ちです。

ここまでは、とにかく会を動かすことに重点を置いてきましたが、組織は作ることは割と簡単でも、本当は続けることの方が大変で重要なのではないかと感じているところです。基本は概ね固まってきたので、今後は会員同士の交流を深め、お母さん達

だけに負担を負わせないようにお父さん達を活動に引っ張り込むこと等がこれからの課題です。そしていつかは、近隣の父母会未設置ルームの父母と連携、協力して父母会設立を促進し、地域に活動を広げ、みんなで子育てしていく空気を作れたらいい

いなと思っています。最後に一言。

よくやったじゃん、私達！！

(習志野台第1・保護者)



親にもお友達は必要なのです！

「このままだと行田東放課後ルーム父母会存続の危機です。父母会が無くなってもいいですか？」

娘が2年生になる直前のことでした。当時の父母会役員の方が新2年生の保護者を集めての話し合いで、こう切り出したのです。のほほんと1年間を過ごしてきた私にとって、それは考えもしなかったことでした。保育園時代は当たり前のように父母会があり、無くなるなんてありえない...

集まった新2年生の保護者の方もみな同じ気持ちでした。「父母会は必要！」次年度は会長と副会長しかいない...ならば新2年生がみんなで、できることをやろう。

こうして私の父母会への実質的参加が始まったのでした。とは言え、今時パソコンもできない、で何ができるのか？いやいや、きっとあるはず。そしてみんなでできることを分担して「みんなで父母会」と気持ちが一つになった気がしました。そして月1回の役員定例会。今まであまりお付き合いのない方ばかりでしたが、顔を合わせる機会が多くなるとおもしろいもので、同じ学校に子どもを通わせているもの同士、すっかり親同士もお友達になっているのでした。こうして2年生、3年生と楽しく父母会に参加でき、その時に一緒に力を合わせた仲間とは4年生でルームに入れなくなっても、ずっとお友達といういい関係が続いています。それは久しぶりの新しい世界の広がりでもありました。やっぱり子どもだけでなく親にもお友達が必要なのです。

子どもたちの顔も性格もいろいろみえてきて、親同士も悩みを相談しあえる...そうそうこれなんです。

そして市連協の定例会にも出席してみると、またこれが結構楽しいのです。他の放課後ルームの様子や活動、普段は聞こえてこない指導員さんの貴重なお話など、そして会長さんの「みんなお互いの顔がみえていれば、トラブルにはなりにくい」という考えに共感し、そうそうとうなずくのです。そして児童育成課との懇談会で父母会の要望を話し、早々に対策を講じていただけると、やはり父母会の力なんだと納得しました。

そんな行田東放課後ルーム父母会にも、またまた危機が！ルームには3年生までという状況が当たり前となり、父母会への参加にも影響を及ぼし始めているのです。私のように姉弟で引き続きでない限り、次々と入れ代わる子どもと保護者。ルームとの関わり感も薄れ、父母会にも興味、関心が持たなくなってきているのではないのでしょうか。もちろん私達父母会役員のアピールも力不足なのでしょうが、でもみなさん、たったの3年間と思うことなかれ、その3年間は子どもにとっても自分にとっても貴重な3年であるということ。確かにみんな働いているから忙しいのですが、汗をかけばその分得るものはきっとあるはず！...ということで、ただ今、役員大募集中です。

お友達作りませんか？

(行田東・保護者)



市連協(船橋市学童保育連絡協議会)は、船橋市内の公営放課後ルーム・民営学童保育の保護者・保護者 OB・指導員有志で構成する任意団体で、各父母会の活動をサポートしています。こちらもぜひご参加ください。

定例会などのお知らせ(予定)

3月28日	定例会 19時30分～	(女性センター)
4月25日	定例会 19時30分～	(女性センター)
5月中旬	児童育成課懇談会	(市役所)
5月の定例会はありません		
6月15日	総会	(中央公民館)